

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|--|--|----|---------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第166号 | 氏名 | 願 能 智 子 |
| 学位審査委員 | 主 査 池 田 通 教授 副 査 原 宜 興 教授 副 査 筑 波 隆 幸 教授 | | |
| 論文審査の結果の要旨 | | | |
| 1 研究目的の評価 | | | |
| <p>本研究は様々な生理活性を持つキトサンを用い、培養骨芽細胞の分化・増殖への影響のメカニズムを遺伝子レベルで解明するために行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> | | | |
| 2 研究手法に関する評価 | | | |
| <p>遺伝子発現状況を確認するのに適している cDNA マイクロアレイ、リアルタイム PCR、リン酸化抗体によって様々な角度から MAPK に関する分析を行っており、研究手法は妥当である。</p> | | | |
| 3 解析・考察の評価 | | | |
| <p>上記手法で解析した結果、骨芽細胞へのキトサンの作用は MAPK 経路を介して行われていることが判明し、今後さらなる細胞内シグナル伝達系への研究発展が大いに期待される。</p> | | | |
| <p>以上のように本論文はキトサンの生理活性解明へ貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p> | | | |